

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	筋層非浸潤性膀胱癌に対する Narrow Band Imaging (NBI) を用いた経尿道的手術の検証
研究責任者 (所属科名)	泌尿器科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	<p>膀胱に発生する筋層非浸潤性膀胱癌 (NMIBC) は高率に膀胱内再発を来しやすく、本疾患は高齢者に発生しやすいため今後急速な高齢化社会を迎える本邦においてますます重要な疾患の一つと考えられる。</p> <p>一方、近年の光学技術の進歩により内視鏡機器の発展はめざましくさまざまなデバイスが登場し現在に至っている。それぞれの光学技術には特徴があるが、Narrow band imaging (NBI) は血液中のヘモグロビンに吸収されやすい狭帯域化された2つの波長の光を照射することにより、粘膜表層の毛細血管、粘膜微細模様の強調表示が可能で毛細血管の異常をより認識し易くする技術である。すでに消化管内視鏡領域では広く導入され、臨床的な有益性が報告されている。従来の白色光 (White light imaging: WLI) では認識が難しく見落とされやすい病変部が容易に網羅できるため、近年泌尿器科領域でもその有用性が報告されている。</p> <p>しかしながら、本邦における NBI を用いた経尿道的切除術 (Transurethral resection of bladder tumor: TUR) の有用性について言及した報告は極めて少ない。そこで今回われわれは NMIBC に対する NBI を用いた TUR (NBI-TUR) の周術期所見および術後経過を後方視的に検証し WLI を用いた TUR (WLI-TUR) のそれと比較し、NBI-TUR の有用性について検討する。</p>
調査方法・調査期間	2009年4月1日から2014年3月31日までに安佐市民病院泌尿器科で膀胱腫瘍に対し経尿道的手術を受けられた方の情報を調査します。調査期間は2017年1月から2017年6月までです。
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様</p> <p>2009年4月1日から2014年3月31日までに安佐市民病院泌尿器科で膀胱腫瘍に対し経尿道的手術を受けられた方。</p> <p>★利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定し ていますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しま せん。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話：082-815-5211（代表）
備考	